

先輩職員に質問してみました！ Vol.1

井ノ下 加奈

広島法務局職員課(入局3年目:係員)



不動産登記推進イメージキャラクター
トウキツネ

法務局を志望した理由は？

法務局の業務説明会に参加した時、法務局の仕事は登記事務だけでなく、戸籍事務や国籍事務、訟務事務、人権擁護事務など、業務が多種多様であることを知りました。

私は、結婚や出産をしたとしても仕事を続けたいと考えていたため、色々なことを経験したり、挑戦することができる法務局に魅力を感じました。

また、大学では法学部に所属しており、4年間学んだ知識を仕事でもいかしたい、誰かの役に立てたいという思いもあり、法務局を志望しました。

現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

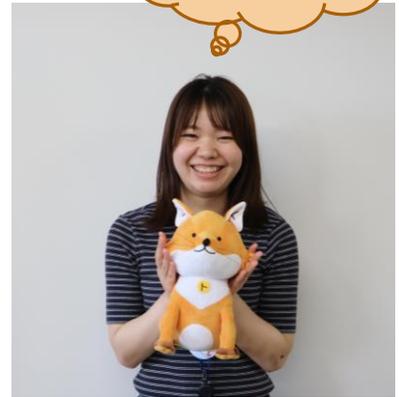
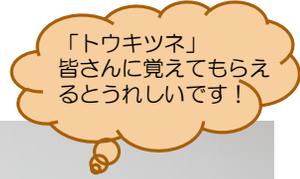
現在は、職員課で、研修の企画やサポート、健康診断に関する事務を行っています。職員の能力向上や健康に関わる責任の大きい仕事ですが、その分、やりがいや自身の成長を実感しやすいです。

職場では、それぞれ集中して仕事に取り組んでいます。先輩や上司に相談した際は快く応じてくださるため、非常に相談しやすいです。繁忙期でも、時より雑談を交えながら一緒に乗り越え、前向きに仕事に取り組むことができる職場だと感じています。

やりがいを感じる瞬間は？

前任の支局での登記業務は、窓口で対応をする際、来庁者の方から直接「ありがとう。」と感謝されることが度々あり、誰かの役に立ったことを実感できてやりがいを感じました。

現職の職員課では、年間の予定を把握した上で仕事の計画を立てたりするなど、前任の業務とは仕事の進め方が大きく異なり、異動当初は非常に苦労しました。それでも、上司に確認・相談しながら仕事を進めるうちに、少しずつ、自分の立てた計画どおりに仕事を進めることができるようになり、苦労した分、やりがいを感じました。



休日の過ごし方は？

休日は、趣味の料理やお菓子づくりをしたり、旅行に行ったりして、リフレッシュしています。最近は、喫茶店でモーニングを食べて、朝のゆったりとした時間を楽しんでいます。また、体力づくりのため、週末に1~2回、近所の河川敷を5km程ランニングしています。年次休暇もとりやすく、非常に充実しています。



法務局に興味を持っている方へのメッセージ

法務局の仕事は、どれも法律に基づいて進めなければなりません。上司や先輩のサポートもあり、一人で抱え込むことなく進めることができます。また、年齢や役職に応じた研修制度や勉強会が充実しており、若手交流会などの仕事以外でのコミュニケーションも活発です。

この記事を見て、法務局に興味を持てただけならうれしいです。



先輩職員に質問してみました！ Vol.2

藤井 大仁

広島法務局民事行政部法人登記部門
(入局3年目：係員)

法務局を志望した理由は？

大学時代は法学部に在籍しており、そこで学んだ知識がいかに仕事に就きたいという思いがきっかけで法務局に興味を持ちました。法務局主催の業務説明会や官庁訪問に参加する中で、登記や戸籍、供託、訟務、人権など、業務の内容が多岐にわたり、国民の生活に密接に関連した業務に携われることを始め、研修制度が充実しており、キャリアアップの選択肢も多い点に魅力を感じ、法務局を志望しました。



現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

私の所属する法人登記部門では、会社・法人の取引上重要な商号・名称、本店所在地、目的及び代表者の氏名等の変更や会社の設立に関する登記申請書類を審査し、登記情報に記録することが主な業務です。

登記をする内容や提出書類は、全て法律や規則等で定められており、中には複雑な事案も少なくありませんが、分からないことがあれば周囲の職員に相談しやすい心理的安全性が保たれた職場環境にあり、和気あいあいとした雰囲気の中で仕事をしています。



やりがいを感じる瞬間は？

私自身、初めての商業・法人登記の事務であるため、分からないことが多い上に、申請人等からの問合せも多く、学びながら仕事をする日々を過ごしています。その中で、自分で法令や参考資料を確認して、問合せに対応し、感謝の言葉をかけられたときや、複雑な事案を単独で処理できたときには、やりがいを感じることも多く、また、自分の知識量が増えていくことに成長を感じています。



遺言書ほかんガルー

休日の過ごし方は？

仕事終わりにはプロ野球を自宅や球場で観戦しています。また、体を動かすことが好きなので、ジムに行って体を動かしたり、冬であれば県内外のグレンデに行き、スノーボードをしています。そのほか、職場の野球部に所属していますので、暖かい季節の間は職場の先輩や同期の職員と一緒に野球もしています。

法務局は、年次休暇を年に15日以上取得することや休日に続けて2日間の休暇を取るプラス2休暇の取得が推奨されていますので、休暇を利用して旅行に行くこともでき、趣味を始め自分の時間を取りやすい職場だと思います。

法務局に興味を持っている方へのメッセージ

法務局と聞くと、堅苦しい、というようなイメージを持たれるかもしれませんが、どの部署もすぐに周りの人に相談したりすることができる環境が整っており、研修やレクリエーション等を通じて他部署の人とも関わりが持てる、風通しのよい職場だと思います。少しでも法務局に興味を持っている方は、是非、業務説明会に参加して、法務局の魅力や雰囲気を体感していただきたいと思います。皆様と一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。



先輩職員に質問してみました！ Vol.3

香山 詩乃

広島法務局福山支局登記部門
(入局11年目：登記専門職)

法務局を志望した理由は？

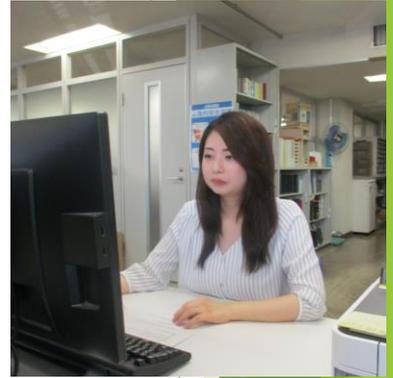
大学のゼミで法務局に職場見学に行った際に、窓口の女性職員が来庁者に対応している姿を見てカッコいいと思ったことが、興味を持ったきっかけです。就職活動をする中で、今後何十年も働くのならば、自分が興味のある法律を学べる職場で働きたいと思う気持ちが強くなり、法務局を志望しました。



現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

現在、福山支局登記部門において、不動産に関する登記の申請事項が適正かどうか、法律に基づき審査をしています。日々多くの申請がありますが、誤りのないように緊張感を持って慎重に処理をしています。

また、私は子どもの送迎のため休憩時間の短縮制度を利用して15分早く退庁させてもらっています。職場の皆さんに快く受け入れてもらえており、安心して働くことができています。



やりがいを感じる瞬間は？

これまで登記部門に配属されたことがあまりなかったので、今は毎日が学びの連続です。日々新しい知識が身につく、処理できる事案が増えることで自分が成長しているのを実感できるところに、やりがいを感じます。

また、法務局の仕事は部署が違ってても、関連性が高いものが多いので、これまで在籍した部署での知識や経験をいかせることも魅力だと思います。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

休日の過ごし方は？

もうすぐ3歳になる子どもがいるので、休日は家族皆で早起きして、いろんなところに遊びに行っています。子どもは、動物と乗り物が大好きなので、動物園や水族館に行ったり、電車や船を見に行ったりすることが多いです。

また、休日は、夜に子どもが寝静まった後、映画を見るなどして、平日だとなかなか作ることができない自分の時間を満喫しています。



法務局に興味を持っている方へのメッセージ

法務局の仕事は多岐にわたっていますが、様々な研修制度があるので、法学部出身でなくても全く問題ありません。また、長期の研修は開催時期が決まっているため、ライフプランが立てやすく、仕事と家庭の両立ができる職場です。法務局に興味をお持ちの方は、ぜひ業務説明会に参加してみてください。



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

先輩職員に質問してみました！ Vol.4

天野 雅之

広島法務局民事行政部民事行政調査官室
(入局4年目:民事行政調査官付(係長級))

法務局を志望した理由は？

前職が広島県の職員だった私は、法務局には職員選考採用試験(係長級)があることをたまたま見たポスターで知り、受験資格があり経験を生かせるならと、チャレンジしてみようと思いました。ただ、法務局がどういった所で、どんな業務を行っているか知らなかったのですが、国民一人一人の生涯をトータルサポートできる身近な存在であることを知り、大変魅力的な業務だと感じ転職しました。



現在の仕事内容や職場の雰囲気は？

民事行政調査官室は、職員の人材育成、各種施策の広報、法教育の実施、オンライン登記申請の利用促進、業務効率化の取組推進を主に行っています。特に広報活動では、令和6年4月1日から施行された相続登記の申請義務化を周知するため、講演会の開催、関係機関に対する協力依頼、JR広島駅での街頭PR、報道機関への売り込み等、局内外問わず交渉を展開してきました。

交渉を円滑に進めるため、悩むことも多いですが、どのような発言も受け入れてもらえる風通しの良い環境なので、さまざまな意見やアイデアを提案してもらえる、『心理的安全性』が保たれた職場です。



やりがいを感じる瞬間は？

広報の効果測定は難しいですが、メディア関係者へお金をかけないプロモーションを、何度も企画立案、折衝を行ったことで、こちらの熱意が伝わり望ましいかたちでメディアに掲載され、目に見える効果を得られた時は最高に嬉しい瞬間でした。

また、鮮度の良い情報を流通させるため、局内外の様々なステークホルダーとのリレーションを構築し、積極的に活動することは私にとって大変やりがいを感じる業務です。



休日の過ごし方は？



フレスコボールというビーチスポーツを楽しんでいます。使う道具はラケットとゴムのボールの2つだけで、相手と7m以上離れて、5分間ボールを打ち合います。打ち合う二人は、味方なので、相手の打ちやすい場所に返してあげることから、思いやりのスポーツといわれます。スポーツをしながら思いやりの気持ちを感じつつリフレッシュしています。

法務局に興味を持っている方へのメッセージ

地方公務員として市役所、広島県で勤務した後、法務局の職員選考採用試験(係長級)として国家公務員になりましたが、法務局は転職組を快く受け入れてもらえる職場でした。また、短いスパンで人事異動があるので、幅広い業務を短期間で習得でき、それを補うための研修制度も充実しています。年齢や経験にかかわらず常に新しいことにチャレンジできる法務局を魅力的だと感じませんか。

来春、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

